

類字名所和歌集

一

津田文庫
文庫 1
1627
1



Handwritten notes in the top left corner of the left page.

Main body of faint, handwritten Japanese text on the left page, organized in a grid.

1629



つだ文庫 (Tsuda Bunko)

010190607300

九		八		七		六		五		四		三		二		一	
新勅撰		新古今		子載		詞花		金葉		後拾遺		拾遺		後撰		古今	
恋十一	春上一	恋十一	春上一	恋十一	春上一	春一	春一	春一	春一	恋十一	春上一	恋十一	春上一	恋十一	春上一	恋十一	春上一
恋十二	春二	恋十二	春二	恋十二	春二	夏二	夏二	夏二	夏二	恋十二	春二	恋十二	春二	恋十二	春二	恋十二	春二
恋十三	夏三	恋十三	夏三	恋十三	夏三	秋三	秋三	秋三	秋三	恋十三	夏三	恋十三	春三	恋十三	春三	恋十三	夏三
恋十四	秋四	恋十四	秋四	恋十四	秋四	冬四	冬四	冬四	冬四	恋十四	秋四	恋十四	夏四	恋十四	夏四	恋十四	秋四
恋十五	秋五	恋十五	秋五	恋十五	秋五	賀五	賀五	賀五	賀五	雜一	秋五	雜一	秋五	戀十五	秋五	戀十五	秋五
雜一	冬六	雜一	冬六	雜一	冬六	別六	別六	別六	別六	雜二	冬六	雜二	秋六	哀傷	秋六	冬六	冬六
雜二	賀七	雜二	賀七	雜二	賀七	戀七	戀七	戀七	戀七	雜三	賀七	雜三	秋七	雜三	秋七	賀七	賀七
雜三	旅八	雜三	旅八	雜三	旅八	戀八	戀八	戀八	戀八	雜四	別八	雜四	冬八	雜四	冬八	別八	別八
雜四	神九	雜四	神九	雜四	神九	雜九	雜九	雜九	雜九	雜五	旅九	雜五	雜九	雜五	雜九	雜九	旅九
雜五	尺十	雜五	尺十	雜五	尺十	賀十	賀十	賀十	賀十	雜六	哀十	雜六	神樂	雜六	哀十	物名	物名

石見 丹波 佐渡 若狹 陸奥 近江 上総 駿河 伊豆 伊賀 伊勢 美濃 出羽 越前 山陰道 丹後 隱岐 山陽道

但馬 尾張 相模 武蔵 遠江 安房 上野 下野 越中 越後 加賀 能登 信濃 伯耆 出雲 志摩 甲斐 常陸 河内 和泉 攝津 東海道 和 畿内

新續古今	新拾遺	新拾遺	新千載
恋十一	春一	恋十一	春一
恋十二	春二	恋十二	春二
恋十三	夏三	恋十三	夏三
恋十四	秋四	恋十四	秋四
恋十五	秋五	恋十五	秋五
長十六	冬六	雜上十六	冬六
雜上十七	賀七	雜下十七	雜中十七
雜中十八	尺八	尺十八	雜下十八
雜下十九	別九	神十九	長十九
神二十	旅十	賀十	賀二十

山陽道

伯耆

和泉

攝津

梅宮

宇多山

大内山

大原

鞍馬山

栗栖小野

八幡

松尾

衣子杜

木鴻

飛多井

北野

澤田河

美豆

得原

沙室山

浪見小川

大和

内野

淳田社

大升山

晴清水

暗部山

山科

八瀬

船尾

木幡

嵐山

縣升戶

朝日山

菅坂山

貴布祿

湯倉山

檀河橋

行河

宇治

井手

大澤池

大荒木杜

雲林

秋久瀬

榎嶋

伏見

小治河

愛宕

懸宮

嵯峨

極中

衣笠屋

法興寺

廣澤

炭竈里

丸尾山

野宮

大原

男山

久連郡

八幡尾

榎雄山

深草

稻

有栖川

栗田山

津野

法滝

湯平洗河

法野

平野

磐瀨

羽買山

富緒川

小倉峯

作南備

神岳山

高園

高天山

衣野

衣良

六田

久遠峯

山邊

岩橋

磐余

泊瀬

豐等寺

春日

拍木杜

蜻蛉小野

吉野

辰市

子城

夏其川

宇陀野

棕橋山

石上

泊瀬

死火

修門

葛城

神橋山

形小野

龍田

高天山

袖振山

七瀬渡

大河邊

久米路橋

山階寺

古川邊

越久野

飛鳥

秋葉里

佐保

象山

逝迫里

三輪

涉船山

標野

日院野

菅原伏見里

伊加々崎

玉田横野

天川

真野萩原

藤原都

巨勢野

朝原

青嶺

猿沼池

家小川

雪消澤

三宮

内陸池

望雲

檜原

菅田池

河内

交野

高安

伊加々崎

玉田横野

天川

益田池

古柄小野

天香久山

阿多天野

赤膚山

佐野渡

法河原

湯原

宮滝

耳無山

廣瀬川

檜隈河

高瀬

伊加々崎

玉田横野

天川

卷向

布苗

元師

吾妻野

在原寺

香檜山

弓嶺

三笠

水谷山

見野川

一言神

菅原

伊加々崎

玉田横野

天川

泉池

與津溪

生田

原池

遠里小野

輪田沙崎

淀繼橋

高溪

津守

長洲

鳴尾

草香山

扑津

和泉

檜原

吹飯浦

楠津

板田橋

細江

布引滝

龜井

高師溪

高津

雅波

武庫

猪名

待兼山

有馬

玉横野

信太杜

盤子杜

堀江

小壑宮

神南備杜

太刀生江

田長嶋

長柄

津初嶋

大江岸

真野

阿久乃河

高師溪

羽束山

西嶋

忘水

河嶋

玉川

玉出水

那古海

長君浦

涉前沖

昆陽

蘆屋

淺澤
葦浦
水無瀬
法景
廣田社
須依八江

淺香浦
五月山
三嶋江
箕面
津邊

葦間池
依比江
三津
三夫女浦
住吉

安陪嶋
淺川
淺山
敷津
取磨

伊勢海

伊勢

伊勢海

一志浦

伊勢神

奇宮

五十鈴川

豐文

于尋溪

小野

小塩井

志井

若松魚

度會

神道山

鏡宮

川口美

竹都

月護

長渡

淡河

淚江

大庭

生

鳥咩浦

山田魚

二見

朝熊

朝日交

阿古木浦

櫻宮

清法

湯津波村

伊良虞荷

宮川

三渡

住連文

伊良虞荷

志摩

尾張

阿波子

熱田

冬河

文路

志賀須香渡

八橋

遠江

高師山

名三浦

引佐細江

淡名橋

依夜中山

白菅妻

長渡

駿河

蘆崎

志邊

豐城山

蘆原

有度溪

浮橋原

宇津山

富士

古奴是溪

木花杜

安陪

三穗

志豆棧山

駿河海

伊豆

伊豆沙山

走湯

奥小嶋

伊豆海
古井社

甲斐

甲斐根

鶴郡

山梨

小笠原
指出磯

相模

鎌倉

竹下
足柄

鶴巻

八重山
名根

武蔵

小余後橋

五川
荒南

五ヶ所
狹山

掘兼升
武蔵野
三ヶ所

安房

野島崎

上総

黒戸溪

下総

葛飾

勝間田池
阿取波宮

香取浦
角田川

常陸

霞浦

鹿嶋
康願川

鳥子浦
梅川

小野沙牧
筑波
美奈乃川

近江

伊吹

伊香具

走井

二宮

千松原

志田原

孫高山
石叟山
波母山
新居郷
千坂原
音吉山

石戸山
不知外河
花橋里
常盤橋
千枝村
小比叡

石山
板倉山
岩清水
湖海
鳥沙山
竹生嶋

松立松
蒲生野

龜岩
玉向山

五河
筑摩

連庫山
打出濱

真津島山
大信

朽木拙
山井

益原里
近江宮

朝日
津山

水尾
聖真子家

比叡
開法水

因幡山
序田

船木山
日之拙

位山

大飼沙湯
曾原

伏屋

若松杜
駒山

横川
玉緒

言鴉
月出崎

長村山
宇奈野

蔭膳溪
老曾杜

栗本里
真野

已高見山
粟津

三上
三村山

滋養樂
日吉

関小川
美濃

伊津黃川
結神

不破
関藤川

赤彈

信濃
筑摩川

筑摩湯
浅間

唐崎
堅田

余古浦
玉野魚

七社
長澤池

野路葉原
大國里

大倉山
八十溪

松崎
逢坂

且妻
樂波都

水壘
志賀

白石山
守山

勢多長橋

岩田小野
宇苗

美濃沙山

鏡山
陸野

雁島尾
玉井

鳥野村
長等山

名取河
野鳩

大出高
暗部里

野洲
横村

近江海
青柳村

坂田
十得軒宮

比良
諸神郷

岳井

那上

美濃中山

風越峯
久米路橋

淺羽野

更級
望月牧

木曾
菅荒野

切原

赤村山

伊香保沼
横野

上野

石塩沼
多胡入野

利根川
佐野

一平保夜沼

安八鴨
安模川

下野

黒髮山
羨香保沼

二子山
棟茅原

磐手

陸奥

惺爾

十經橋

十府浦

千賀塩竈

小川橋

緒紋橋

雄鴻

小忍橋

加茂

玉川

武隈

玉生江

袖渡

壺碑

名取

奈古曹岡

浮鴻

奥海

尾駁古牧

真針

朽木橋

三塚

山井

安積
會瀨川
都鴻
下怒関

衣関

夜河

夷

袖浦

會津山

阿武隈

安達

後瀬山

佐波古法湯

宮城

羨豆湯

伊津波多

信夫

塩竈浦

白河関

矢田野

赤松山

象海

名上川

特道池

出羽

戀山

敦賀

伊波世野

越前

青羽山

茶原

加賀

越中

越白根

白山

多指浦

奈具

知花山

布勢海
三磯

越路浦

磐坂山

松山

大江山

浦井村

梶鴻

倉橋河

水江

入佐山

二上山
三鴻野

越後

越山

丹波

生野

神田郷

玄田村

日置里

丹後

懸凌

吹打

水江宮

但馬

伊津師官

越洲

越海

千世能山

敷山

増井

与謝

海橋五

神楽備山

長田村

藤坂山

浦鴻

足占山

形之浦

玉川

鳴滝

待乳山

阿由之海

紀伊海

檜隈宮

田中井戸

牟婁郡

吹上

秋津野

由良

名草

浦初鴻

藤代

飽等濱

三穂宮

那智

熊野

古屋泊

佐野宮

厚屋王子

淡路

大和鴻

繪鴻

阿波

木津神浦

讃岐

松安浦

松帆浦

阿波門

松山

淡路

里塗

阿野河

伊豫

阿比浦

泊磯

阿野河

宇和郡

宝户

土佐

堀前

糸崎

宝门山

袖渡

朝倉山

沙笠杜

引津

博多

金津崎

漆川

荒船沙形

美宇浦

新板

松

香推

川萱南

思河

依屋取山

志加

鏡神
以礼振山

肥後

肥前

玉嶋

松浦

野坂浦

阿蘇社

錦浦

石見

石見川

高角山

日晚山

珠山
海奴池

高田山
小竹嶋

被嵩

幡磨

荷保渡

高海

藤江

幸荷嶋
津田細江
二見浦

賀和
宝泊
明石

野中清水

美作

久米佐良山

備前

虫明迫門

大港

唐琴泊

見臨

孫高山

三方解

高倉山

長田山

松山

鞆浦

豐浦

糸鹿山

磐田

發心門

備中

審山

細谷川

玉田野

黒上山

杖坂山

備後

長門

阿武松原

紀伊

妹背山

妹賀嶋

千尋溪

豊前

倉多溪

豊後

木綿山

日向

橋小戸

大隅

氣文社

薩摩

壹岐

引登

對馬

安作治山

海松月浦

奥小嶋

奈毛不社

速日峯

笠結沼

宇佐宮

企救溪

比古方根

四極山

備前

福井

雄琴里

長谷川

松原山

吾備中山

石碕

神嶋

長尾村

長可

今来

磐手里

青魚

岩代

石間浦

緒捨山

石邊山
床浦
忘水
玉無里
七瀬渡
真菜川
化野
阿羅布池
夕景山
三浦江浦
紅糸洞

八野
床海
狩府魚
高瀬山
宇直門港
古江浦
安蔭嶋山
兩宮
木綿系川
志能麻

入日長
烏屋野
懸瀨
玉出山岸
井磯山
船瀬棧
葦原浦
佐邊野
長豆小川
干海浦

磐石浦
千田村
加佐ヶ鼻山
眠吉林
矢野神山
衣浦
阿知方海
切麻魯
三浦浦
薄尾浦

類字之形和歌集第一

廿一代集校書

伊行

石蔵山野

山城

捨送神樂
うはたるはる蔵山不悉衣をまこひまつ地味も
きまらるる公孫山まき代まこひまつ地味も
是引のふきおれりもあつはまき代まこひまつ地味も
花房たまきまこひまつはる蔵のまこひまつ地味も
民部為友

捨送雜恋

伊行
山社今
平定文

同

我といひもりけりまこひまつ地味も
原長能

同

伊行
山社今
後捨送神祇
惠慶法師

金葉夏

親の處をまこひまつ地味も
中納言伊行

夏小社

伊行
山社今
行末

詞花雜下

永正世のりき事法思う一付然らんるるの者ら也

伊ちるれ鳥井りうま付ゆりきる

同

千載雜下

伊ちるる世にまのねさるる世のりてよまるる神 倭人不知 僧都有慶

續古今祇

我たのむん入海しと世をそとせにゆるるの灯 稻荷明神

玉葉夏

いさる山にてもやら子祝ゆのまのり舞の宇ゆ 源頼実

續千載祇

橋を山にてもやら子祝ゆのまのり舞の宇ゆ 法皇古賢

風雅雜中

伊ちるる山にてもやら子祝ゆのまのり舞の宇ゆ 頼政

同神祇

やうらぬえとまのり舞の宇ゆのまのり舞の宇ゆ 前元大臣

泉川

同

伊ちるる世にまのり舞の宇ゆのまのり舞の宇ゆ 倭人不知

古今旅

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 兼盛

千載

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 若原仲実

同哀傷

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 僧都範玄

同恋

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 兼補

玉葉夏

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 俊成

同恋

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 源家長

續千載雜下

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 倭人不知

新千載旅

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 後宇多院

同秋上

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 從征行家

新續古今

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 俊成

同雜上

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 野宮元大臣

同雜下

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 源兼氏

後拾遺祇

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 増基法師

同

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神

金葉賀

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神

千載神祇

泉川のせき水の水をこれあらしむるのりてよまるる神 能蓮法師

同族

新原下原あるまはる山あふる田の事
斎院 同 斎院 斎院

斎院子目

拾遺雜春

一平の櫻あつとせと不まふのふりさる思や
源順

金葉雜上

非遠の米九敷よあつ福あつとせとあふる
斎院 斎院 斎院

詞林春

さくさく花あふ庭さくさくさくさくさくさく
揚津

同秋

津まふ小の歌とさくさくさくさくさくさく
得子内親王

同雜下

思ふ心むとさくさくさくさくさくさく
選子内親王

同雜上

千の梅のさくさくさくさくさくさく
斎院

新古今夏

馬道めあつとせとあふるさくさくさく
式子内親王

新秋撰神祇

ゆふとさくさくさくさくさくさく
御子内親王

同

春に花あつとせとあふるさくさくさく
京極前園

玉葉雜

あつとせとあふるさくさくさくさく
白大藏

石川

同

新古今神祇

石川やあつとせとあふるさくさくさく
勝長明

後古今

思ふ心むとさくさくさくさくさく
鎌倉右大臣

後拾遺

石川やあつとせとあふるさくさくさく
後鳥羽院

新千載恋三

石川やあつとせとあふるさくさくさく
津守貞冬

後拾遺神祇

白あつとせとあふるさくさくさく
右原長能

同

那岐のるまじしきよのせりあけ今いひくそよりぬのら平貞秀

志橋

同

後撰恋五

ろくろやあはれはよと志橋中とあてとろろめり我後人不知

拾遺雜賀

志橋のよめおきりも後ぬをしぬれ備しあつて春宮女左近

後拾遺恋五

中後ぬ志橋あつてろろもあつて事おどろく相摸

千載雜上

ろくろや後しもよとぬ物あふ来ぬ志橋あつて能宣

新古今恋五

葛城や久来ちになつて志橋中とあつて南

後撰攝春下

ふららちあ吹後と春風中と後もあつて志橋

同恋四

葛城の歌守の葵のいし志橋あつてあつて

同恋五

さし我をよと志橋中とあつてあつてあつて

後古今恋

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

同恋三

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

同

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

新後撰恋四

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

後千載恋四

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

同恋四

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

新千載恋五

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

新拾遺冬

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

同恋四

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

新後撰雜上

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

新後古今恋三

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

志橋

同

古今夏

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

同雜上

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

又拾遺恋四

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

後撰恋三

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

同雜三

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつて

同返

拾遺春

後拾遺秋下

拾遺秋下

詞元春

同雜下

新古今春上

同雜下

後後撰雜中

後古今賀

玉葉秋下

後千載恋品

月推春中

新千載秋下

同雜下

後撰恋一

同恋六

金葉恋下

新古今恋三

新勅撰夏

同

同恋一

後後撰恋三

後古今秋下

同恋一

後拾遺恋一

同

新後撰恋

後千載夏

同恋一

世をくじく妻の恋を三へ手紙をうかしく三人けん 遍昭

まらぬいんそらちろるるよめわじもあら山田あはも 忠見

あしうらとと意をよまひつるよはを時をのほまきうつ 兼永

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

おたをあふれくみさやふよありを所をまかひしを 友原兼永

ふよ山ありてふまをりふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

ふよゆへち男れたちりれをよめととてくまあかひん 淡人不知

伊勢海

伊勢

古今恋三

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほれ 後人不知

同

伊世の海は雲はもろ繩打もてつらうのしほ思海流 同

同恋四

伊勢の雲は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 同

同雜短哥

伊勢の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ

後撰恋一

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 後人不知

同恋三

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 伊勢

同

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 伊勢

同恋五

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 伊勢

同

伊世の雲は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 後人不知

同

伊勢の雲は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 源英明

同雜

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 船恒

同雜四

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 伊勢

千載後

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 伊勢

同戀三

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 前表議

千載雜中

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 源俊重

同

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 越前

同

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 真秋門院

同

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 匡房

同

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 後人不知

新勅撰恋四

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 安主王

同雜四

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 家隆

同

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 吉門院

後撰撰春上

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 後人不知

同恋五

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 鎌倉右大臣

後撰恋

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 後人不知

同恋一

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 前表議

同恋二

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ 衣井前内侍

同恋五

伊世の海は流りする雲をまらねんこと定うのしほ

同雜下

後拾遺春上

同恋三

新後撰恋五

玉葉恋二

同雜四

同恋二

同雜五

同尺教

後千載秋下

同秋上

同恋三

後拾遺春

同賀

同恋一

同雜下

新千載賀

同秋上

同冬

同恋

同恋二

新拾遺恋一

新後拾遺交

新後冬春

同恋一

同恋三

同

同恋四

伊勢海

同

前左大臣

あしきも伊勢の浪も風吹きたるも正三位

伊勢の海も不慮に波立ちて天のりくあまのりく

伊勢の海も細くも瀬我もふもひるあまのりく

思ふふもあまのりくあまのりく思ふふもあまのりく

我もあまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

あまのりくあまのりくあまのりくあまのりく

後後選文 簗のくはつこころ海のなほつも恋のつと果ぬる祝引 匡房
凡雅雜上 凡後れ伊らこころ海のなほれ下枝浪の花さふり 道三親王
賞助

千載卷四 逢幸のさき細路を歩みけり 海さきまじりもあはれ地 左原清浦

盤石城山

駿河

駿河 駿河 駿河 駿河 駿河

新千載雜下 おちりぬるあまを海のなほれや伊らこころ海のなほれん 定家
新千載古事 物さしむ恋路の山を越え多ふ人あまの涙あけり 後人不知
同雜一 かなた人あまをこころ海のなほれん 後人不知

廬原

同

新後撰雜 伊豆のつとむる廬原のなほれん 前中納言
新千載雜上 伊豆のつとむる廬原のなほれん 前中納言

廬崎

同

新拾遺恋三 夫のつとむる夫の涙の沖は凡ゆるし 能登言法師
後後撰雜中 伊豆のつとむる廬崎のなほれん 後頼

同賀 伊豆のつとむる廬崎のなほれん 同

新勅撰旅 まるくおちりて下海の南國をこころ海のなほれん 丹基法師

廬崎

下総

石山

山

後後撰春 うまのつとむる山核あるあまのつとむる 後人不知
新千載雜上 伊豆のつとむる石山のなほれん 左原長能

石山

新勅撰 伊豆のつとむる石山のなほれん 左原長能

後古今 長借部より結んた人とあまのつとむる 権大納言

石山

新拾遺戀上 伊豆のつとむる石山のなほれん 左原長能

伊吹

同

後拾遺戀二 かくとくふさやこころ海のなほれん 左原長能

新古今恋

同恋三

新古今恋三

新古今恋下

新古今恋

同恋四

新古今恋三

新古今恋夏

新古今恋四

新古今恋

新古今恋

新古今恋

新古今恋

をふりて角や伊波のじりもあしうこ枝のうりや後らん 和泉式部

の事八つと伊波の参りて後れし後とあ思ふなり 中宮実房

こころとあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 右原頼氏

ふとあふもあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 寂縁法師

ふとあふもあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 曾村好忠

ふとあふもあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 中宮親王

ふとあふもあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 太皇太后

ふとあふもあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 衣村内大臣

ふとあふもあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 大納言通具

同恋

同 條中同恋

ふとあふもあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 兼成

ふとあふもあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 前中御言

ふとあふもあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 前中御言

石倉山

同

ふとあふもあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 氏忠

ふとあふもあふと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 氏忠

板倉山

同

今上天皇御修紀の御屏風よを以ての国のこころ

の山田の御旗の御くろくとはしうを人かこころた

かまこころをこころた

板倉の山田の御旗の御くろくとはしうを人かこころた

伊香具

同

あひしに後れしと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 兼成

あひしに後れしと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 兼成

石根山

同

天仁元年大嘗會御修紀の御屏風よを以ての国のこころ

石根山やあひしと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 前中御言

不知外河

同

あひしに後れしと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 兼成

あひしに後れしと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 兼成

同恋五

あひしに後れしと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 兼成

同恋五

あひしに後れしと伊波の山姥のあふもわらぬ思ふなり 兼成

新後撰恋一

りしはしと思ふもや川せらにきりぬまゝなるや 實茂久世

同恋三

後よ名のしゆていさや又あふせとふぬとれ山川 聖徳院甲

後千載又

いさやゆかやあふせとふぬとれ山川の山月をくぬ新う 平時元

後後拾遺恋三

葵のまの事しつや川いりたるまきぬせれくし 三位皇子

新千載恋三

都りしよ友のうらむをいかにやあふせぬも 源右経

忠清水

同

古今恋一

逢坂の雲ふぬぬき清き水いふふふふふふふふふ 伴今不知

同難解

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 忠孝

新勅撰旅

別れし名もぬらまき清き水いふふふふふふふふふ 若原親繼

同恋一

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 敦富門院

後後拾遺恋三

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 信生法師

新拾遺恋三

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 民部卿為明

周橋

美濃

古今難別

左別れぬれぬのさふふふふふふふふふふふふふ 在原行平

同難七

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 在原隆博

新後撰夏

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 為成

同別

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 權納言

玉葉又

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 祖意法師

新千載別

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 願徳院

新法古今下

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 伏見院

同冬

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 多良

同別

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 源家長

同難別

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 權納言

伊津貫河

同

金葉賀

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 在原道隆

後後拾遺又

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 大納言成道

新千載賀

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 後東極

新法古今又

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 後小松院

同

あふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬあふせぬ 惟明親至

伊波世野

熱中 陽貞郡

新拾送別 伊波世野の志のまよひをてしむる持とてそとを家

新候古今 伊波世野の志をてしむる持とてそとを家

丹波

大嘗會

伊波世野の志のまよひをてしむる持とてそとを家

中野里

同

金葉雜上 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

新古今賀 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

新勅撰秋下 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

伊波世野 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

伊波世野 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

新千載秋上 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

新拾送旅 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

新候古今春上 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

同夏 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

同恋五 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

後撰秋下 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

金葉春 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

同恋上 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

千載夏 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

新古今春下 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

同夏 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

新勅撰冬 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

新撰撰冬 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

玉葉尺教 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

新千載夏 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

伊波世野 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

伊波世野 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

伊波世野 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

伊波世野 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

伊波世野 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

伊波世野 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

伊波世野 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

伊波世野 入山の道のまよひをてしむる持とてそとを家

家持

紫羅襪

匡房

小式部内侍

刑部省範兼

權納言

西園寺天通

前大政大臣

正親町院

京大進

中務卿

前大納言

義隆

前大納言

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

源家俊

新拾遺物名 十子娘の舟の舟人が案をたてての重之

石見海

拾遺恋五

同難恋

新勅撰恋二

同恋二

同恋三

新勅撰恋五

新勅撰恋五

新勅撰恋五

新勅撰恋五

新勅撰恋五

新勅撰恋五

石見河

妹山

中南野

備前

後撰恋六

拾遺別

同物名

後撰恋五

新勅撰恋五

同恋

新勅撰恋五

同恋

新勅撰恋五

同恋

新勅撰恋五

同恋

新勅撰恋五

同恋

石見

石見は人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

石見海船の舟人守る石見海船の舟人

稲井

同

宗祇国分 初撰名無抄 藻鑑堂

金葉賀

南沢の水よりあ射よけらるる民や

高僧明頼

石碕

同

藻鑑堂 藻鑑堂

後撰撰賀

末よきと来のりけり久あれさう

糸鹿山

紀伊

在田郡 八雲山抄初撰名無抄 藻鑑堂 藻鑑堂

金葉春

よもろくもあかきもれりあもふん

妹背山川

同

古今恋五

流てきとよきとよの穴中みあ

後撰秋下

君とわも思ひの山をねられし

同難上

ひひしとあはれし山の中は

拾遺津系

思ふあしとすくもあはれし

同難秋

しるべきあはれし山をねら

金葉秋

あはれし山をねらしやもろく

新勅撰難

流とよも思ひしとよの穴中

後撰撰賀

あはれし山をねらしやもろく

同難二

あはれし山をねらしやもろく

後撰撰賀

あはれし山をねらしやもろく

同難三

あはれし山をねらしやもろく

同難中

あはれし山をねらしやもろく

後撰撰賀

あはれし山をねらしやもろく

同難二

あはれし山をねらしやもろく

同難一

あはれし山をねらしやもろく

後撰撰賀

あはれし山をねらしやもろく

同難三

あはれし山をねらしやもろく

同難中

あはれし山をねらしやもろく

後撰撰賀

あはれし山をねらしやもろく

同難二

あはれし山をねらしやもろく

同難一

あはれし山をねらしやもろく

後撰撰賀

あはれし山をねらしやもろく

同難三

あはれし山をねらしやもろく

同難中

あはれし山をねらしやもろく

後撰撰賀

あはれし山をねらしやもろく

同難二

あはれし山をねらしやもろく

同難一

あはれし山をねらしやもろく

後撰撰賀

あはれし山をねらしやもろく

新後百卷

同恋一

同恋二

同恋三

同恋四

同恋五

今来 山筆 世

同

連日よりなれて今来者よ納め給ふ事とあるのよしにて

後古今傷

玉垂首夏

志代 野社 尾上

同

捨遠難下

同恋三

同恋四

後捨遠恋四

同難四

同恋上

同恋下

新古今歳

同神祇

新初撰恋三

後後撰神祇

後古今歳中

後捨遠難上

新後撰恋三

玉垂首五

同神祇

風雅旅

新千載恋三

同難中

新捨遠恋三

新後古今歳

新後古今歳

新後古今歳

新後古今歳

新後古今歳

今来者よ納め給ふ事とあるのよしにて

後松院 祝部成光

民部 賀

後松院 賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

賀

同
同神祇
出代入野入のちの岩のまをれは後しの形ありしむらび
じとひしと製を毛の末をれは又もろをまき代に和氣種成

盤石田 川岸

同
後拾遺神祇
いし川後入のちの岩のまをれは後しの形ありしむらび
松の木の末田の者れは後しの形ありしむらび
西行

玉葉雜一
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同神祇
新千載神祇
いし川後入のちの岩のまをれは後しの形ありしむらび
松の木の末田の者れは後しの形ありしむらび
西行

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同
後千載
西行の神をぬれは又もろをまき代に和氣種成

同恋三

同雜上

同雜中

凡雅春上

同春中

同秋上

同冬

同雜上

同雜中

新千載春

同

同秋下

新拾遺春

同

同春下

同

同秋上

同冬

同恋三

同

同春上

同

同恋三

同

同春中

新後拾遺春

同秋下

同雜春

同雜秋

同

新後古今

同

同秋下

同雜上

同

同

新字卷一

〇三十八

あま舟泊瀬しめ花うつるまを今いふあはれ

石上流瀬そちうたの瀬川流る事ちく又まはれん

泊瀬山ひつるの鳥や鳴ぬらんあはれあひの

物瀬山ひつるゆき月と川のくさ霞はさるく鏡もふ

つるをみし松のまうく物も山極まらぬ春のあはれ

林のまうくあまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

物も山ひつるあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

あまのつゆ物も山何となくあはれ

荒木思孫

前中納言

法中定為

後京極

道源上人

石奔秀長

源詮政

氏部賢宣

坂原清神

中納言馬

正三位隆教

行宗法師

法中定為

中納言道前

太政大臣

後原清神

氏部賢宣

坂原清神

中納言馬

正三位隆教

行宗法師

法中定為

中納言道前

太政大臣

後原清神

氏部賢宣

坂原清神

中納言馬

正三位隆教

行宗法師

法中定為

中納言道前

太政大臣

後原清神

氏部賢宣

坂原清神

中納言馬

正三位隆教

行宗法師

法中定為

中納言道前

太政大臣

後原清神

氏部賢宣

同秋下

深あるとさその花の枝あると月も枝のまみれ 前条議忠定

新千載下秋

秋うらやまの枝をさして 法眼兼善

同雜射

とさいふ山よるみるく 俵下畧 佚人不知

新後拾遺

秋舞を都よりを時をさしてのさし 家隆

同冬

梅の枝をさしてのさし 前条議忠定

同哀傷

秋のさしをさしてのさし 友原高光

凡雅雜中

とさいふ山よるみるく 俵下畧 為氏

同恋三

とさいふ山よるみるく 俵下畧 佚人不知

同雜下

とさいふ山よるみるく 俵下畧 寂念法師

同返

とさいふ山よるみるく 俵下畧 源仲正

新千載上春

花のさしをさしてのさし 能宣

新拾遺秋下

とさいふ山よるみるく 俵下畧 道徳

同

とさいふ山よるみるく 俵下畧 今出川院

同

とさいふ山よるみるく 俵下畧

同

とさいふ山よるみるく 俵下畧

同秋下

とさいふ山よるみるく 俵下畧 紀貫之

同恋五

とさいふ山よるみるく 俵下畧 素還河

同

とさいふ山よるみるく 俵下畧

同

とさいふ山よるみるく 俵下畧

同恋四

とさいふ山よるみるく 俵下畧 佚人不知

同花秋

とさいふ山よるみるく 俵下畧 曾村好忠

新古今秋下

とさいふ山よるみるく 俵下畧 藤田

新勅撰秋下

とさいふ山よるみるく 俵下畧 宮内

新古今秋上

とさいふ山よるみるく 俵下畧 後鳥羽院

同恋二

とさいふ山よるみるく 俵下畧 太上天皇

同恋三

とさいふ山よるみるく 俵下畧 友原元真

新後撰賀

とさいふ山よるみるく 俵下畧 定家

新千載上

とさいふ山よるみるく 俵下畧 正在兼衡

新後拾遺

とさいふ山よるみるく 俵下畧 法中定高

同

とさいふ山よるみるく 俵下畧 法中定高

同

とさいふ山よるみるく 俵下畧 法中定高

同

とさいふ山よるみるく 俵下畧 法中定高

同

とさいふ山よるみるく 俵下畧 法中定高

同

とさいふ山よるみるく 俵下畧 法中定高

同秋下

衣のこも風の四重入指ひ乃其意に當りぬ秋の山風

前柄書後

凡雅賀

鳥藩菊引のりは山城のこゝに吹きぬありぬのり

前柄書後

同雜中

侍も物もはさうらむていつくさく國の實の秋のさき

西行

同

家も書さくこも風の面入柱風はむかへもさうらひ

後鳥羽院

同雜上

のさきぬ春をえやらぬもぬさく山ねふさかありは

大江頼重

新拾送秋下

あもるく懐の秋はさうらむていつくさく國の實の秋のさき

中園入道前

同

白名は鳥ね國のさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

太政大臣

同表傷

かむさきうらむとさうらむていつくさく國の實の秋のさき

信実

同雜上

侍さうらのこも風の面入柱風はむかへもさうらひ

祝部尚長

新送古今多

白名は鳥ね國のさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

後京極

同秋下

夕日山は秋のさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

等持院

金葉秋

大井川のさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

大中臣長

同

句のさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

菅原長

千載秋下

のさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

前奉後親隆

新撰撰秋下

大井川のさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

菅原長

同恋三

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

俊成

後撰撰秋下

秋のさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

有家

同

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

堀河大臣

後拾送秋下

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

大納言性信

新撰撰恋三

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

道三品親王性助

玉葉冬

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

法眼源美

後千載秋

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

俊成

後撰撰秋下

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

定家

同秋下

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

後京極

新撰撰秋下

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

式部左衛門三

同

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

後同三司

後撰撰秋下

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

源義將

後撰撰秋下

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

後人不知

後撰撰秋下

とさきぬさきぬさきぬさきぬさきぬ

法橋忠命

同 晴るるのあはれなる山さくらつる今もあはれ 小侍後命婦

詞花雜下 思ひの秋のうらもあはれ山さくら煙をかき守成り 山融院

千載表傷 多る山田やあはれうらもあはれ煙やあはれあはれ 民部成苑

同雜中 多る山田やあはれうらもあはれ煙やあはれあはれ 大江景

同尺教 煙たふさじもあはれ山さくらあはれあはれ 寂然注師

新勅撰雜三 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 慈田

同 鳥へ山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 後患注師

後撰撰雜下 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 若原基經

新撰撰雜下 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 典侍光子

玉葉雜四 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 永福門院侍

同 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 俊成

千載表傷 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 式龍門院連

後撰撰雜下 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 若原隆祐

新千載表傷 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 連智門院

新撰撰雜下 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 共栄坊

後撰撰雜下 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 後京極

新撰撰雜下 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 借正末縁

後撰撰冬 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 順徳院

新千載春下 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 權中納言

新撰撰古今 多る山さくらあはれあはれあはれあはれあはれ 鎌倉右大臣

古今春 春日の飛鳥の野もあはれあはれあはれあはれ 後人不知

後撰撰三 春日の飛鳥の野もあはれあはれあはれあはれ 同

後撰撰亦 春日の飛鳥の野もあはれあはれあはれあはれ 入道後政

千載春上 春日の飛鳥の野もあはれあはれあはれあはれ 通俊

新古今上 春日の飛鳥の野もあはれあはれあはれあはれ 前赤議長

後撰撰亦 春日の飛鳥の野もあはれあはれあはれあはれ 前光大臣

同 春日の飛鳥の野もあはれあはれあはれあはれ 為家

後撰撰春上 春日の飛鳥の野もあはれあはれあはれあはれ 定家

玉葉亦三 春日の飛鳥の野もあはれあはれあはれあはれ 某藤子重

後撰撰春上 春日の飛鳥の野もあはれあはれあはれあはれ 若原隆信

凡雅夏 春日の飛鳥の野もあはれあはれあはれあはれ 氣運法師

新拾遺

公藤利志

上田里小野

同

新初撰書上

佐吉人

後撰撰秋上

佐吉人の

同

佐吉人

後撰送終下

佐吉人

同雜春

佐吉人

新後撰書

佐吉人

同賀

佐吉人

後千載夏

佐吉人

同

佐吉人

新千載秋下

佐吉人

同

佐吉人

新後古今秋下

佐吉人

後撰拾遺

佐吉人

同

佐吉人

後撰拾遺

佐吉人

同

佐吉人

玉葉春

佐吉人

同

佐吉人

古今抄

佐吉人

金葉秋

佐吉人

新古今秋下

佐吉人

同旅

佐吉人

後撰撰恋三

佐吉人

後古今恋五

佐吉人

後撰撰恋五

佐吉人

新後撰恋三

佐吉人

後千載

佐吉人

新字

三十七

大正通侍

馬路山

同

秀能

大率權師

中務親王

家隆

安如門院

美鎮親王

同冬

同旅

同

同恋五

同恋三

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

伊弉諾川今や水とて流るるたの素人阿波の舟に乗り玉時元

後人の床のゆきをゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき

毒道只ひらひらひらひらひらひらひらひらひらひらひらひらひら

道はよきとてを成床の山並みとてかまきりかたれ 成明理三

杖をたけしふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

吹くふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 前存三

たのまふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 定家

獨りぬきこの世間をわたりてあやふしき世を渡るは 源有恒

ひらひらゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき 権少僧都

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 寛耀

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 法中於詮

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 後住首子

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 祝部成良

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 上野 利根郡

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 利根河

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 十徳橋

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 陸奥

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

あまのふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ 同

玉葉

新勅撰賀

後拾遺誹諧

松浦のゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき

能目近叶

自信云

讃波

長門

藤原の重

備後

橋立

経信

大酒言

九折十

海客

豊浦

里官

水をたけら

新古今旅

新勅撰雜曲

新拾遺雜曲

新後拾遺雜曲

新古今旅

新後拾遺雜曲

新古今旅

新後拾遺雜曲

新古今旅

新後拾遺雜曲

新古今旅

新後拾遺雜曲

新古今旅

新後拾遺雜曲

床浦

未歌

後拾遺齋

やぐらと枕乃よふ寝られて煙たをぬ。この浦ふ相摸

後後撰恋

我神よじりて波を初めぬ。あまの風定家

後古今春上

とみねの浦内あはれし。藤原の神ふらふ。右原老俊

同秋上

あはれへの床たつ。その流花や。推大僧叔

同恋三

涙のこもあ。舟とるあ。光明寺

新千載冬

さよ更てあふ。千名并群。贈住持

同旅

うみ深なる床の浦。同。前僧

同

後神乎。床の浦。同。家治部

新拾遺旅

あはれぬ床の浦。同。高法親王

同恋二

あはれぬのたふ。同。為秀女

同恋上

あはれぬの床の浦。同。源頼遠

新後古今秋

雲人のあはれ。同。法平住持

同

木の葉のあはれ。同。徳松院

新後古今秋

あはれぬのたふ。同。為家

同

あはれぬのたふ。同。為家

同

あはれぬのたふ。同。為家



歌字の和歌集第一終

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian, covering the left page. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side. A small, faint mark is visible near the top center of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian, covering the right page. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side. A small, faint mark is visible near the top center of the page.



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian, located in the top right corner of the right page.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian, located in the bottom right corner of the right page.

